

単元名 ER国際  
「多文化共生プログラム」(第1学年)



1 単元の目標

歴史的にも地理的にも関わりの強い中国の青少年と交流することを通して、グローバル社会に対する興味関心を高め、持続可能な社会は多様な主体が互いに連携・協力することにより構築されることを理解するとともに、多様な人、もの、ことなどとのつながり・かかわりに関心を持ち、大切にしようとする態度と心を育てる。

2 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>①持続可能な社会は多様な主体が互いに連携・協力することにより構築されることを理解している。</p> <p>②収集した情報を分類し、分かりやすい方法で表している。</p>	<p>①多文化共生を実現するために自分たちには何ができるかについて考え、問いをもっている。</p> <p>②他者に自分の考えが伝わるように、目的に合わせて情報を分類したり、効果を意識して表現方法を組み合わせたりしている。</p> <p>③相手や目的に応じて、自分自身の考えをまとめ、適切な方法で表現している。</p>	<p>①多様な人、もの、ことなどとのつながり・関わりに関心を持ち、大切にしようとしている。</p>

3 指導と評価の計画 (7.5 時間)

小単元名 (時数)	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
共生のために ～日本を知ろう・ 伝えよう～ (3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本や岡山における外国の方々の現状を知るとともに、共生について考える</li> <li>Chromebook を活用し、交流に向けて発表の準備をする①</li> </ul>	①	①		・ワークシート
	<ul style="list-style-type: none"> <li>Chromebook を活用し、交流に向けて発表の準備をする②</li> </ul>	②	②		・スライド ・発言
日中青少年オンライン交流 (1.5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>洛陽外国語学校の生徒と交流 (Tencent meeting 使用、各教室)</li> </ul>			①	・ワークシート ・発言
多文化共生を 考える (3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>Chromebook を活用し、オンライン交流のまとめと、発表に向けたリハーサルを行う</li> </ul>		③		・スライド
	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流から学んだこと、考えたことをまとめ、クラス内やクラス間で共有する</li> </ul>		↓		・ワークシート ・発言

単元名 ERキャリア  
「自分の進路と自分らしい生き方」(第2学年)



VI

6

1 単元の目標

大学・企業・非営利セクターの3つの異なるフィールドで人やものに関わることを通して、働くことの意義やボランティア、社会貢献活動などについて理解したり、持続可能な社会は一人一人がその責任と義務を自覚し、自ら進んで行動することが必要であることを理解したりするとともに、多様な人、もの、ことなどと自分とのつながり・関わりに関心を持ち、大切にしようとする態度を育てる。

2 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>①持続可能な社会は一人一人がその責任と義務を自覚し、自ら進んで行動することが必要であることを理解している。</p> <p>②収集した情報を分類し、分かりやすい方法で表している。</p>	<p>①「自ら生き方を考え、その実現に主体的に取り組む」ために何が問題かを見つけ出し、課題を明らかにしている。</p> <p>②課題の解決に必要な情報を、効果的な手段を選択して多様に収集している。</p> <p>③課題の解決に向けて、多様な情報について、根拠をもとに整理したり、深く分析したりしながら解決に向けて考えている。</p> <p>④相手や目的に応じて、自分自身の考えをまとめ、論理的で効果的に表現している。</p>	<p>①多様な人、もの、ことなどと自分とのつながり・関わりに関心を持ち、大切にしようとしている。</p>

3 指導と評価の計画 ( 時間)

小単元名(時数)	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
自分らしい生き方とは何だろう①(0.5)	・ガイダンス 大学・企業・非営利団体の各フィールドに対する自身の興味関心と、それぞれで期待できることについて考える。	①	①		・発言 ・希望調査シート
大学での学びと進路選択(3)	・岡大訪問(オンライン) ①② (zoom 使用)	②	② ③		・ワークシート (googleform 使用)
	・岡大訪問(オンライン) ③④ (zoom 使用)	▼	▼		・ワークシート (googleform 使用) ・お礼状
グローバルな視点を育てる(2.5)	・GIFT 講演会 「グローバルシチズンシップの育て方」 講師：辰野まどか氏(一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト代表理事) (zoom 使用、各教室)		④		・ワークシート ・発言
地域や社会の課題と参画(3)	・企業・非営利セクター訪問(オンライン) ①② (zoom 使用)	②	② ③		・ワークシート (googleform 使用)
	・企業・非営利セクター訪問(オンライン) ③④ (zoom 使用)	▼	▼		・ワークシート (googleform 使用) ・お礼状
自分らしい生き方とは何だろう②(1)	・学びの振り返りと共有		①	①	・ワークシート

単元名 ERキャリア  
「主権者教育プログラム」(第3学年)



VI

7

1 単元の目標

地元や本校に縁のある政治家(議員)の思いに触れたり、意見を交換したりすることを通して、持続可能な社会を創るには一人一人がその責任と義務を自覚し、自ら進んで行動することが必要であることを理解するとともに、主権者及び市民として社会に参加・参画・貢献・寄与しようとする態度を育てる。

2 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>①持続可能な社会を創るには一人一人がその責任と義務を自覚し、自ら進んで行動することが必要であることを理解している。</p> <p>②収集した情報を分類し、分かりやすい方法で表したり、多面的に理解したりしている。</p>	<p>①個人テーマ探究とのつながりから、SDGs課題解決に向けて何が問題かを見付け出し、課題を明らかにしている。</p> <p>②課題の解決に必要な情報を、効果的な手段を選択して多様に収集している。</p> <p>③課題の解決に向けて多様な情報について、根拠をもとに整理したり、深く分析したりしながら解決に向けて考えている。</p> <p>④主権者及び市民として何ができるのか、自分自身の考えをまとめ、論理的で効果的に表現している。</p>	<p>①持続可能な社会を実現するために、自ら社会に参加・参画・貢献・寄与しようとしている。</p>

3 指導と評価の計画 (5.5時間+朝読書・昼食時間7回)

小単元名(時数)	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
SDGs課題解決に向けて～主権者及び市民として～(1.5)	・ワークショップ式授業&ミニ講演 「あなたが主役の政治」 講師：原田謙介氏(元NPO法人 Youth Create 代表) (zoom使用、各教室)	①	①		・ワークシート ・発言
SDGs課題解決に向けて～主権者及び地球市民として～(2.5)	・GIFT講演会 「世界そして日本を歩む～議員外交を通して～」 講師：逢沢一郎氏(衆議院議員・本校OB)	↓			・ワークシート
朝読書資料配付①	「SNSと政治の関わり」	②	②③		・資料 ・観察
朝読書資料配付②	「私たちと選挙」				
昼食放送①	「今の政治課題」	②			・資料 ・観察
朝読書資料配付③	「私たちの県議会」				
昼食放送②	「県政・市政」	②			・資料 ・観察
昼食放送③	「アンケート結果」	②			・資料 ・観察
朝読書資料配付④	「ゲスト議員プロフィール」	②	↓	↓	・資料 ・観察
持続可能な社会の創り手として～私たちにできること～(1.5)	・ゲスト議員の皆さんとの意見交換会(各教室、クラス間共有はzoomを使用し、オンライン会議) ※参照1		④	①	・ワークシート ・発言

※参照1 お世話になったゲスト議員の方々

県議会議員(5名) 波多洋治様、高橋 徹様、大塚 愛様、中川雅子様、木口京子様

市議会議員(4名) 中原淑子様、竹永光恵様、松本好厚様、森山幸治様

他に原田謙介様(アドバイザー参加)、岡山県議会事務局の方々、PTA広報部の方々

単元名 ER「個人テーマ探究」(第3学年)



1 単元の目標

3年間のER学習を踏まえた個人テーマ探究活動を通して、持続可能な社会は一人一人がその責任と義務を自覚し、自ら進んで行動することが必要であることを理解するとともに、社会に参加・参画・貢献・寄与しようとする態度を育てる。

2 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①持続可能な社会は一人一人がその責任と義務を自覚し、自ら進んで行動することが必要であることを理解している。 ②調査活動を、目的や対象に応じた適切さで実施している。 ③収集した情報を分類し、分かりやすい方法で表している。	①3年間のER学習を踏まえて課題を設定し、見通しをもって計画を立てることができる。 ②課題の解決に必要な情報を、効果的な手段を選択して多様に収集することができる。 ③課題の解決に向けて、多様な情報について、根拠をもとに整理したり、深く分析したりすることができる。 ④相手や目的に応じて、自分自身の考えをまとめ、論理的で効果的に表現することができる。	①自他の意見や考えのよさを生かしながら、課題解決に向け、協働して学び合おうとしている。 ②探究活動において、多様な人、もの、ことなどと自分とのつながり・関わりに関心を持ち、大切にしようとしている。 ③持続可能な社会を実現するために、自ら社会に参加・参画・貢献・寄与しようとしている。

3 指導と評価の計画 (19.5時間)

小単元名(時数)	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
個人テーマ探究の見通しをもとう(1.5)	・ガイダンスと事例検討 (zoom使用、各教室)	①			・ワークシート
個人テーマ探究を進めよう①(7.5)	・個人テーマ探究計画書作成 (zoom使用、各教室)		①		・ワークシート
【課題(問いと仮説)設定】	・個人テーマ探究計画書完成 探究活動のプロセスなどに留意し、個人テーマ探究活動計画書を完成させる。		↓		・個人テーマ探究計画書
	・相互フィードバック① (zoom使用、各教室) 班とペアで相互フィードバックを行う。			①	・ワークシート ・発言
【情報収集】	・相互フィードバック② 共通(類似)のSDGsをもつ仲間との間で相互フィードバックを行う。			↓	・ワークシート ・発言
	・探究フィールドワーク活動計画	②		↓	・夏FW活動計画書
夏季休業中 【情報収集】 【整理・分析】	・フィールドワーク ※参照1 アンケート実施 インタビュー 現地調査 実験・制作 資料検索 etc.	↓	②	②	・活動メモ ・収集資料
個人テーマ探究を進めよう②(6)	・探究のまとめ・表現① 夏季休業中の探究活動について班で共有する。	↓	③		・ワークシート ・発言
	・探究のまとめ・表現② Chromebookを一人一台使用し、Classroom内でスライド編集・共有し、ペアや班で情報交換する。	③	↓		・ワークシート ・スライド
	・探究のまとめ・表現③ スライド資料を完成させる。	↓	↓		・スライド ・発言
	・探究のまとめ・表現④ プレゼンのリハーサルを行う。	↓	↓		・ワークシート ・発言
持続可能な社会のために～私の提案～(4.5)	・クラス発表会(Classroom活用) グループ、ワールドカフェ方式 ・スライドの相互閲覧(オンライン)		④		・スライド ・発言 ・ワークシート
	・学年代表プレゼン発表会 ※オンライン・公開 ・探究リフレクション(2-3年交流) ・ER展示・地域発表など ※参照2		↓	③	・ワークシート ・スライド

## ※参照 1

### (1) フィールドワーク活動の内容

- ・アンケート実施（Google フォームやメール活用など）・・・約30名
- ・インタビュー（現地取材・電話/メール取材）・・・100名以上
- ・現地調査（地域・近隣のみ）・・・約20名
- ・実験・制作など・・・数名
- ・資料検索・・・多数

### (2) お世話になった事業所や活動場所など（一部紹介）

- ・日産岡山店 ・セブンイレブン岡山厚生町東店 ・岡山市環境事業課 ・岡山県立盲学校
- ・東山電停 ・備前焼作家金重潤平先生お仕事場 ・岡山駅 ・西古松、東古松の横断歩道 ・宇野港
- ・倉敷市保健所生活衛生課 ・岡山市保健所衛生課 ・岡山市役所環境課 ・YMCA せとうち
- ・エイト日本技術開発 ・天満屋ハッピータウン原尾島店 ・サンサポートオカヤマ
- ・コメダ珈琲所大福店 ・進研ゼミ ・JA 農協 ・HIRAKIN リサイクルセンター ・(株)アトム
- ・旭川河川敷 ・岡山県総合グラウンド ・箕島保育園 ・三野浄水場 ・東山つながりキッチン
- ・さざなみ茶屋（後楽園内） ・岡山市立東山公民館 ・奥大山蒜山 ・平井塾 ・岡山県珠算会館
- ・コットン古都夢 ・岡山市役所都市整備局都市交通部交通政策課 ・総社市危機管理室
- ・NPO 法人アスデッサン ・おかやま NPO センター ・まやかみ農園 ・山陽新聞社 ・後楽園
- ・岡山市保健福祉局保健所健康づくり課 ・岡山大学病院 ・日赤病院 ・林病院 ・廣栄堂
- ・児島湖流域下水道浄化センター ・学習塾パスカル ・岡山県警中央警察署交通部 ・乙子城
- ・メイプル英会話スクール ・岡山県国際交流協会 ・岡山少年サポートセンター
- ・玉野市商工観光課 ・研精堂印刷本社 ・小島神社 ・USEN-NEXT GROUP 関西支社南支店
- ・南公民館 ・岡山市門田文化町町内会 ・のらくら堂 ・ゆりかご子ども園 ・蒜山観光理事会
- ・環境学習センター・アスエコ ・資生堂ジャパン中四国支社 ・岡山県視覚障害者センター
- ・湯郷グランドホテル ・川崎医科大学総合医療センター ・シネマクレール ・岡山城 ・百間川
- ・(株)エーザイ ・蒜山観光協会 ・岡山市立南公民館 ・岡山大附属小学校
- ・岡山大附属中ほっとルーム ・岡山大附属中購買部 ・ご家族／親戚のご職場 など

## ※参照 2

《ER 展示および地域発表の予定（一部調整中）》

- ・令和2年10月5日（月）～10月30日（金）  
本校ER月間にて、各学年廊下などで他連携団体パネルとともに特別展示（代表）
- ・令和2年11月22日（日）12:30-13:00  
防災キャンプ・学校プロジェクト事業（主催：操車場跡地にできる新公園を活用する市民の会）  
でプレゼン発表（代表・有志）
- ・令和2年度秋～冬  
岡山市立東山公民館および操山公民館で講座発表（主催：岡大附中 ESD・SDGs 推進部会）
- ・令和2年12月  
第3回 Change Maker Awards（主催：英語4技能・探究学習推進協会）に出品・参加予定

単元名 ER ころ「ころの病を学ぶ」(第2学年)



V

5

1 単元の目標

専門家からの講義や当事者の方との交流等を通して、ころの病気について正しく理解したり、生きにくさを抱える方々の立場を理解したりするとともに、人権意識の高揚に努め、当事者の方々と共に生きる社会の在り方を考え、行動できるようにする。

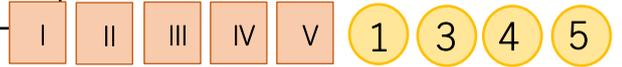
2 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>①ころの病気についてや、生きにくさを抱える方々の立場を理解するとともに、社会は多様な主体が互いに連携・協力することにより構築されることを理解している。</p> <p>②収集した情報を分類し、分かりやすい方法で表している。</p>	<p>①ころの病気について、自分自身で課題を設定し、見通しをもっている。</p> <p>②他者に自分の考えが伝わるように、目的に合わせて情報を分類したり、効果を意識して表現方法を組み合わせたりしている。</p> <p>③相手や目的に応じて、自分自身の考えをまとめ、適切な方法で表現している。</p>	<p>①自他の意見や考えのよさを生かしながら、課題解決に向け、協働して学び合おうとしている。</p> <p>②当事者の方々と共に生きる社会の在り方について考え、当事者の方々や社会に働きかけようとしている。</p>

3 指導と評価の計画 (9.5 時間)

小単元名 (時数)	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
「ころの病」について知ろう (2.5)	・ガイダンス なぜ「ころ」について学ぶのか		①		・発言
	・専門家による講義 「ころの病について知ろう」 講師：田淵泰子氏 (zoom 使用、各教室)	①			・ワークシート
	・各学級担任による授業 「統合失調症について知ろう」 (各教室)			↓	・ワークシート ・発言
当事者の方の交流を通して私たちにできることを考えよう (4)	・各学級での交流会 「当事者の方と交流しよう」 ※オンライン実施			②	・ワークシート ・発言 ・当事者の方へのお礼状
	・ハガキ新聞作成	②	②		・ハガキ新聞 ・発言
「共に生きる社会」のために行動しよう (3)	・ハガキ新聞交流会 (クラス)		③		・ハガキ新聞 ・発言
	・学年発表会			①	・ワークシート ・発言

単元名 ER基礎「様々な視点から社会を見ることで、視野を広げよう」(第1学年)



1 単元の目標

国際、情報、平和、環境などの様々な視点から社会について考えることを通して、社会について様々な視点から考えることの重要性を理解したり、社会の多様性や相互性、有限性を理解したりするとともに、自らの視野を広げ、今後3年間のERの学習の基礎となる資質・能力を育む。

2 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>①社会について様々な視点から考えることの重要性や、社会の多様性や相互性、有限性を理解している。</p> <p>②収集した情報を分類し、分かりやすい方法で表している。</p>	<p>①今、社会にはどのような問題があるかを知り、今後の3年間のER学習の見通しをもっている。</p> <p>②他者に自分の考えが伝わるように、目的に合わせて情報を分類したり、効果を意識して表現方法を組み合わせたりしている。</p> <p>③相手や目的に応じて、自分自身の考えをまとめ、適切な方法で表現している。</p>	<p>①自他の意見や考えのよさを生かしながら、課題解決に向け、協働して学び合おうとしている。</p>

3 指導と評価の計画 (17.5 時間)

小単元名 (時数)	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
様々な視点から社会を見つめよう (11.5)	「新聞」は楽しい！ ～情報のプロから学ぼう～ 講師：矢根 美紀子氏 (山陽新聞社) (zoom 使用、各教室)	①	①		・ワークシート
	戦跡をめぐる① 附属中学区 平和フィールドワーク				・ワークシート
	戦跡をめぐる② 平和講演会「戦争と家族と私」 講師：宮本 南海子氏 (株式会社アジア・コミュニケーションズ) (zoom 使用、各教室 * 1・2年生合同)				・ワークシート
	「問い」をもつということ 講師：友延 栄一氏 (岡山市生涯学習課公民館振興室)				・ワークシート
	「What is Global Citizen and How Do I Become One？」 講師：トーマス・ファスト氏 (ノートルダム清心女子大学 准教授) (zoom 使用、各教室)				・ワークシート
	地球環境を変える気候変動と SDGs 講師：伊与田 昌慶氏 (認定 NPO 気候ネットワーク主任研究員) (zoom 使用、各教室)	▼	▼		・ワークシート
学んだことを発信しよう (6)	・まとめ新聞作成	②	②		・まとめ新聞
	・クラス発表会		③		・ワークシート ・発言
	・学年発表会			①	・ワークシート ・発言

